



ジェンダーとセクシュアリティ についての ハンドブック Ver. 1

獨協大学
ダイバーシティ推進連絡会



獨協大学 ダイバーシティ推進連絡会とは

獨協大学は2020年に「獨協大学人権宣言」「獨協大学における障がいのある学生支援に関する基本方針」「獨協大学におけるLGBTQ学生の支援に関する基本方針」、2021年に「獨協大学ハラスメントの防止に関する行動規範」を策定しました。そして2022年6月、LGBTQ学生の支援および多様性を尊重する大学の環境整備を行うことを目的として、新たに「ダイバーシティ推進連絡会*」を設置いたしました。

ダイバーシティ推進連絡会では、当事者学生の支援ニーズとともに当事者以外の学生の意識を把握するため、2022年7月、PorTa II を通じて全学生に呼びかけ、「LGBTQ学生を取り巻く現状とニーズ把握のためのアンケート調査」を実施し、全学生の4.1%にあたる337人から回答を得ました。その後、調査結果を学内の会議を通じて専任教職員に報告しました(アンケート結果概要は4ページに掲載)。

この「ジェンダーとセクシュアリティについてのハンドブック Ver.1」は、アンケート調査で得られた情報や要望を取り入れて編集し、獨協大学の学生生活情報やサポート体制、ジェンダーやセクシュアリティに関する用語、参考図書等を掲載しています。

すべての学生がセクシュアリティに関わらず快適な大学生活を送ることができる大学、ジェンダーについて旧来の固定観念にとらわれることなく多様な考え方を認め合える大学にするために、ぜひこのハンドブックをご活用ください。

2022年12月
獨協大学 ダイバーシティ推進連絡会
(事務局:学生課)

*ダイバーシティ推進連絡会

副学長を部会長、学生部長を副部会長とし、教務課、学生課、保健センター、入試課、キャリアセンターの職員で構成。入学試験受験から卒業、キャリア支援まで、連携してサポートすることを目的とする組織。

CONTENTS

アンケート調査結果報告	4
ジェンダーとセクシュアリティに関する用語	4
氏名、性別の取り扱い	6
大学施設／大学生活(授業／実習／留学／健康診断)	7
就職活動	8
アンケートに寄せられた学生の声	9
Q&A／参考図書	10
ダイバーシティ推進のためのアクション・プラン	11
人権についての獨協大学の考え方／獨協大学人権宣言／ハラスメントの防止に関する行動規範	12
獨協大学におけるLGBTQ学生の支援に関する基本方針	13
相談窓口／関連情報	14
アクセシビリティマップ／多機能トイレ設備早見表	15

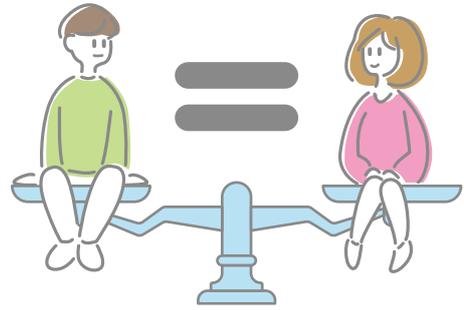
※このハンドブックの製作にあたり、中央大学ダイバーシティセンター「学生のためのジェンダー・セクシュアリティに関するハンドブック(第1版)」、早稲田大学GSセンター「セクシュアルマイノリティ学生とアライのためのサポートガイド Ver. 4」など、先行する大学のパンフレットを参考にさせていただきました。ここに感謝の意を記します。

Introduction

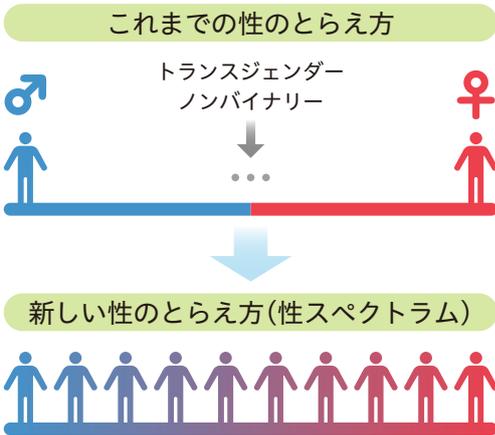
ジェンダー・ハラスメントは無意識に行われやすい。

ジェンダー(gender)とは、生物学的な性別(sex)に対し、社会的・文化的につくられる性別のことで、女性だから、男性だからといった理由により性格や能力の評価や決めつけを行うことを指します。無意識のうちに行われやすいため、十分な配慮が必要です。

例えば、「女性ならよくわかると思いますが」と前置きして家事の話をしたり、「男性なのにお弁当を作るなんて、女子力高いね」と言ったりすることは、ジェンダー・ハラスメントにあたります。



セクシュアリティ(性のあり方)は男性と女性の2種類だけではありません。



〈参考〉日本経済新聞 2022年10月27日 夕刊10面
「性別って“グラデーション”」

セクシュアリティは、次の4つの要素の組み合わせにより、形づくられています。

- 1. 身体的性(からだの性)**
出生時の身体の特徴、その特徴によって割り当てられた法律上の性別
- 2. 性自認(こころの性)**
自分の性別をどう認識しているか
- 3. 性的指向(好きになる性)**
恋愛対象となる相手の性
- 4. 性表現(表現する性)**
社会生活のなかで表現する服装、しぐさ、言葉づかいなど

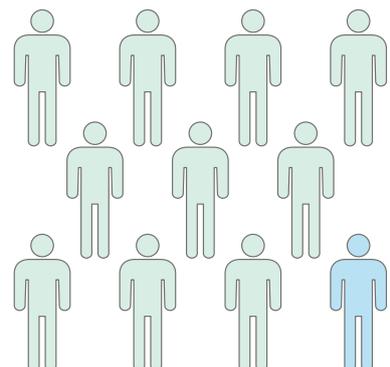
それぞれの要素も、その組み合わせも多様であるため、セクシュアリティは人それぞれに異なり、人の数だけグラデーションがあると言えます。

LGBTQは11人に1人。左利きの人の割合とほぼ同じです。

電通ダイバーシティ・ラボの「LGBTQ+調査2020」によれば、「LGBTQ+に該当する」と回答した人は、8.9%でした*。この割合は、日本における左利きの人の割合とほぼ同じです。獨協大学が2022年7月に行った「LGBTQ学生を取り巻く現状と支援ニーズ把握のためのアンケート」でも、多くの当事者から回答をいただきました。

「自分の身近にLGBTQはいない」と思っているも、実際はあなたにLGBTQであると公表している人が身近にいないだけかもしれません。

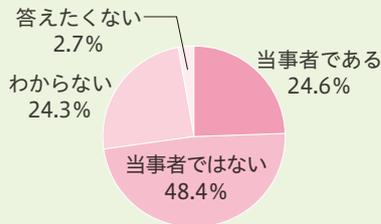
*2019年に国立社会保障・人口問題研究所が大阪市民に対し行った調査では、「決めたくない・決めていない」を合わせると8.2%、LGBT総合研究所「LGBT意識行動調査2019」では10.0%と、調査対象・方法によりセクシュアル・マイノリティの割合には差異があります。



「獨協大学におけるLGBTQ学生を取り巻く現状と支援ニーズ把握のためのアンケート調査」結果報告

2022年7月に実施したアンケート結果の概要を報告します。
回答者数は337名(全学生の4.1%)でした。

セクシュアル・マイノリティの自認状況



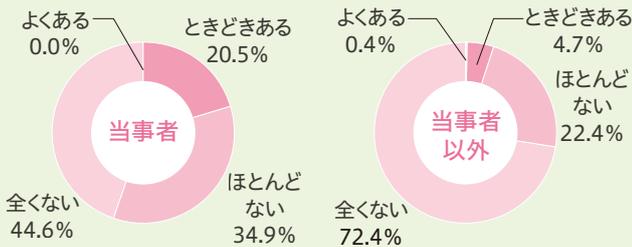
「当事者である」と回答した人は83名。好きになる性が「両性」「同性」「どの性にも恋愛感情を抱かない」という回答、自認する性がトランスジェンダー、Xジェンダー(男性/女性に限られない人)、「わからない」という回答も一定数ありました。

カミングアウトの経験(当事者のみ回答)



電通ダイバーシティ・ラボ「LGBTQ+調査2020」では、カミングアウト経験者は42.6%、未経験者は57.4%でした。本学学生のほうが、カミングアウトしやすい環境にあるのかもしれませんが。

他の学生から差別的発言を受けた/見聞きした経験



当事者のほうが、当事者以外より敏感に受け止めていることがわかります。「教職員からの差別発言」についても、「他の学生から」とほぼ同じ比率でした。

アウティングの経験(当事者のみ回答)



本人の同意なしに第三者にLGBTQだと伝えられた経験のある人は、1割弱いました。

ジェンダーとセクシュアリティに関する用語

ジェンダーについて

社会的・文化的につくられる性別のことです。次の用語も使われます。

ジェンダー・ステレオタイプ Gender Stereotype
いわゆる男らしさ・女らしさ、男性/女性はこうあるべきであるという社会通念

ジェンダー・バイアス Gender Bias
性別に関する偏見・差別

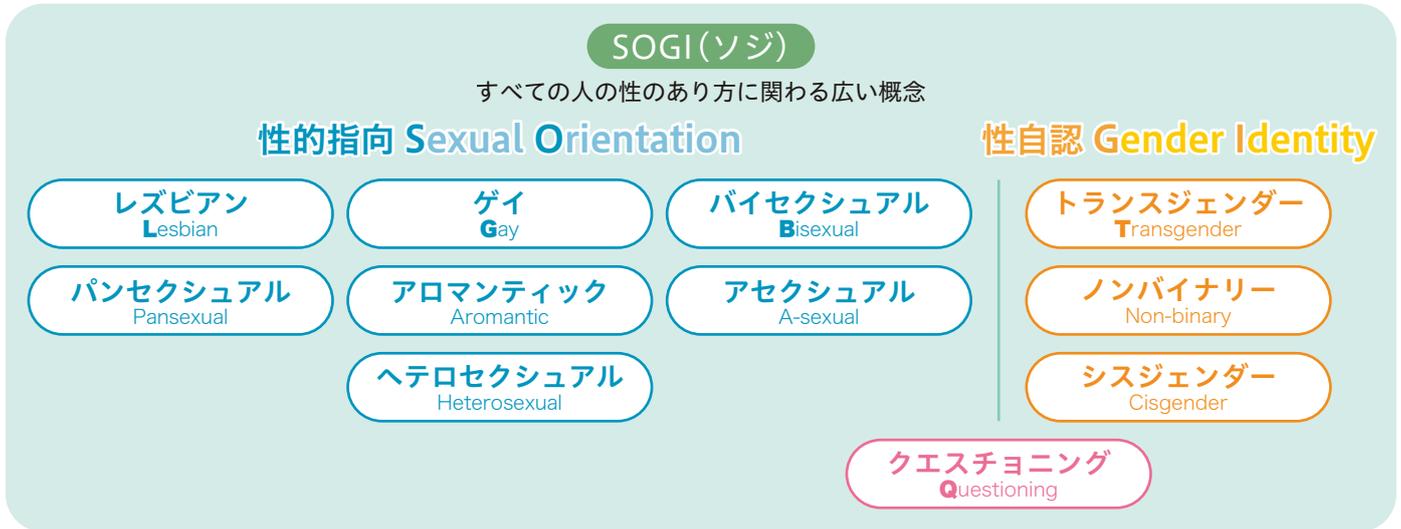
ジェンダー・ロール Gender Roles
男性は外で仕事、女性は家庭で家事育児をするといった、固定的な性別役割規範

アンコンシャス・バイアス Unconscious Bias
誰もが潜在的にもつ「無意識の偏見や思い込み」。成育過程で知らず知らずのうちに脳にきざみこまれ、固定観念となっています。特に、ジェンダーに関するアンコンシャス・バイアスは、社会や企業において性別固定役割分担意識を助長する要因となっています。

セクシュアリティについて

SOGI(ソジ)とは、性的指向(Sexual Orientation)と性自認(Gender Identity)というすべての人がもっている属性の頭文字を組み合わせた言葉です。

SOGIは、LGBTQなどセクシュアル・マイノリティだけではなく、異性愛者なども含めたすべての人が平等に多様な性のあり方を保障されるべきであるという考えに基づく言葉であり、LGBTQよりも広い概念として国際的に使用されています。セクシュアル・マイノリティの方も、そうでない方も、みんなが多様な性の当事者です。



性的指向についての用語

レズビアン Lesbian

性自認が女性で、女性を好きになる人

ゲイ Gay

性自認が男性で、男性を好きになる人

バイセクシュアル Bisexual

男性・女性のどちらも恋愛対象となる人

パンセクシュアル Pansexual

性的指向が男性・女性を問わず、すべての人に恋愛感情、性的欲求を感じる人

アロマンティック Aromantic

性別に関わらず、他人に対して恋愛感情をほとんどまたは全く感じない人

アセクシュアル A-sexual

恋愛感情をもたない人、または性的欲求そのものがない人

ヘテロセクシュアル Heterosexual

性的指向が異性の人

SOGIにまたがる用語

クエスチョニング Questioning

性自認や性的指向がわからない、またははっきりしていない人

クィア Queer

セクシュアル・マイノリティの総称(「LGBTQ」や「セクシュアル・マイノリティ」の代わりに「クィア」と呼ぶこともある)。本来はセクシュアル・マイノリティに対する差別語でしたが、従来の枠組みに当てはまらない多様な性的指向をもつ人が、自身を肯定的にとらえる表現として用いられるようになりました。

性自認についての用語

トランスジェンダー Transgender

生まれたときに割り当てられた性別に違和感を持ち、異なる性で生きる人、または生きたいと望む人

トランス女性：男性として生まれ、性自認が女性の人

トランス男性：女性として生まれ、性自認が男性の人

ノンバイナリー Non-binary

性自認が男性・女性といったカテゴリーに当てはまらないと感じている人(Xジェンダーは同義だが和製英語)

シスジェンダー Cisgender

性自認が身体的性と一致している人

その他、関係する用語

カミングアウト Coming out

自分のセクシュアリティを自分の意思で他者に伝えること

アウトイング Outing

他者のセクシュアリティを、本人の意思に反して、または本人の意思を確認せずに第三者に暴露すること。重大な人権侵害にあたり、時には生命に関わる事態につながることもある行為です。絶対にやめましょう。

アライ Ally

セクシュアル・マイノリティの理解者、支援者、味方として行動する人。LGBTQの当事者であるか否かを問わず使用されています。

氏名、性別の取り扱い



性別欄がある提出書類

本学では、性別情報の収集を必要最小限にする方針をとっており、学生に提出を求める書類にも、できるだけ性別欄を設けないようにしています。

ただし、以下の書類には性別欄があります。

●全員が提出する書類

- ・住民票記載事項証明書(入学手続の際に提出する書類。学籍データに登録され、文部科学省に報告義務がある学校基本調査の男女別学生数の基礎データとなります)

●該当者のみ提出する書類

- ・法学部新入生アンケート(性別欄は未記入でも可)
- ・学生アルバイト給与振込口座届(大学内でアルバイトをする際に提出。性別欄は未記入でも可)
- ・オープンカレッジ受講申込書

●本学が代理受付する他団体の書類

- ・各種奨学金の申請書
- ・学生教育研究災害傷害保険の請求書
- ・資格取得講座の申込書
- ・外国語資格試験の申込書
- ・教育実習、介護等体験等の申込書

氏名の取り扱い

●戸籍上の氏名、性別に変更があった場合

「氏名変更・通称名等の使用に関する申請書」を提出してください。申請書は学生課(学生センター1階)でお渡しします。

添付書類として、以下2点の書類が必要となります。

- (1)家庭裁判所での性別変更に関する審判の謄本
- (2)変更手続き後の戸籍謄本(全部事項証明)

変更手続終了後は、大学が発行するすべての証明書が戸籍名で発行されます。

●自認する性別および通称名の使用を希望する場合

「氏名変更・通称名等の使用に関する申請書」を提出してください。申請書は学生課(学生センター1階)でお渡しします。

性別違和による通称名使用の場合は、添付書類として「医療機関等の診断書」が必要です。

通称名使用の場合、大学発行物の氏名の記載は以下のとおりとなります。

〈通称名で記載されるもの〉

- ・学生証 ・学割証 ・受講者名簿(学生からの申し出による性別が記載されます)

〈戸籍名が記載されるもの〉

- ・在学証明書 ・成績証明書 ・健康診断証明書(戸籍上の性別が記載されます) ・卒業証明書 ・学位記

〈注意〉

- ・学期の途中で通称名を変えた場合、授業の出席や評価等で混乱が生じるおそれがあるため、新学期開始2カ月前までに申請することをお勧めします。
- ・保証人に送付する文書(成績通知表、学費納付のご案内など)にも通称名が記載されます。
- ・本学が発行する証明書のうち戸籍上の性別が記載されるのは、健康診断証明書のみです。

学生証の再発行

戸籍名の変更、通称名への変更のいずれの場合も、希望により学生証の写真を変更することができます。希望する場合は、「氏名変更・通称名等の使用に関する申請書」にその旨を記載してください。再発行手数料は無料です。

大学施設



トイレ

キャンパス内には、性別に関わらず誰でも使うことができる多機能トイレが設置されています。

教室棟の東棟、西棟、天野貞祐記念館は各フロアにあり、着替え台が設置されているフロアもあります。4棟、6棟は1階にあります。詳細は、15ページの「アクセシビリティマップ」および「多機能トイレ設備早見表」をご覧ください。

2023年4月に大学北側に竣工予定の「獨協大学コミュニティスクエア」にも、着替え台がある多機能トイレが設置されます。

更衣室、シャワー室

男女別の更衣室は、以下3カ所にあります。

- ▶35周年記念館1階
- ▶学生センター2階
- ▶獨協大学コミュニティスクエア

シャワー室は、35周年記念館1階・学生センター2階の各更衣室内および学生センター別館1階にあります。学生センター別館のシャワー室は、学友会団体所属学生およびスポーツ・レクリエーション科目受講者のみ使用可能です。

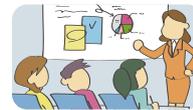
現在のところ、性別によらない更衣室や個室更衣室、シャワー室はありません。着替え台のある多機能トイレをご利用ください(15ページ「多機能トイレ設備早見表」を参照)。

学生寮

獨協大学前駅から徒歩3分に女子学生寮「敬和館」があります。個室(一人部屋)ですが、キッチンは3名一組で共用します。これまでのところ、トランス女性(男性として生まれ、性自認が女性の人)の入館事例はありません。

大学寮ではありませんが、推薦寮として株式会社共立メンテナンスが管理する沿線の食事付き男女寮を紹介しています。詳細は、大学ホームページで「推薦寮」を検索してください。

大学生活



授業

本学では、教職員に対し以下を推奨しています。

●学生の呼び方

- ・「〇〇さん」(外国語で行う授業の場合もMs. /Mr.などではなく「〇〇san」)で呼ぶ。
- ・最初の授業で何と呼ばれたいかを学生本人に確認し本人の希望に沿った呼び方をする。
- ・授業等で名前のわからない学生を指名する際は、「一番後ろの列の男性」ではなく、「一番後ろの列の白いシャツの人」などと声をかける。

●グループワークなど

「男女でグループに分かれて」「男女が均等になるようにグループを作って」といった指示ではなく、「多様な意見が出るようなグループを作ってください」などと指示をする。

ゼミ合宿などの際、部屋割りや入浴時間などで配慮を希望する場合は、まず教員に相談してください。可能な限り希望を尊重しながら、具体的な配慮や対応方法を一緒に考えます。

実習

教育実習や介護等体験の実習先でのトイレ、更衣室、服装などについて心配がある場合は、教務課免許課程係(東棟1階)で個別相談を受け付けます。

実習受け入れ先の体制や状況によって実習先の開拓に時間がかかる場合があるため、教職課程登録時に相談することをお勧めします。

留学

半年～1年間の長期留学(交換留学・認定留学)、夏季・春季の約1カ月間の短期留学(外国語研修プログラム)についての個別相談を、国際交流センター(天野貞祐記念館2階)で行っています。

留学先での氏名、性別の取り扱いは公的書類であるパスポートに基づきますが、本学の協定校への留学(交換留学)の場合は、協定校と連携しながら支援を行うことが可能です。

短期留学の宿泊先は、大学寮の場合とホームステイの場合があります。事前に相談いただければ、希望をうかがいながら調整します。

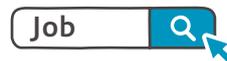
健康診断

健康診断は、毎年1回、3月末から4月初旬にかけて男女別、学科・学年別に行われます。3月末に受診票を送付する際に受診スケジュールをお知らせしますので、配慮を希望する場合は保健センターに連絡してください。

TEL:048-946-1944

健康診断を受けた方には、健康診断証明書を発行することができます。証明書には、戸籍上の性別が記載されます。

就職活動



進路や就職、インターンシップに関する相談は、キャリアセンター(天野貞祐記念館1階・東側)で受け付けています。その際、要望に応じてアドバイザーを固定することも可能です。

今後、LGBTフレンドリー企業に関する情報の収集を積極的に行い、キャリアセンター内の掲示板などで紹介する予定です。

※PorTaⅡの「ダウンロードセンター」から性別記入欄なしの大学名入り履歴書をダウンロードすることができます。

〈外部機関の就職活動関連サイト〉

- **LGBTQ学生のための就活サイト「LGBT就活」**
認定NPO法人ReBitが運営。各種イベント情報や就職活動のヒント、フレンドリー企業の取り組みを紹介

- **ダイバーシティ求人サイト「JobRainbow」**
LGBTQの就職活動ガイドや体験談、LGBTフレンドリー企業一覧などを掲載



Column

日本のジェンダー・ギャップ指数は世界116位

世界経済フォーラム(WEF)による「Global Gender Gap Report 2022」によれば、経済、教育、保健、政治の分野ごとに使用データをウェイト付けして男女格差を測るジェンダー・ギャップ指数の日本の総合スコアは0.650。順位は146カ国中116位で先進国の中で最低レベル、アジア諸国の中でも韓国や中国、ASEAN諸国より低い結果となりました。

学生のみならず、男女格差のない社会になるよう、一緒に行動しましょう。

内閣府男女共同参画局総務課
「共同参画」2022年8月号 pp.11-12
世界経済フォーラムが「ジェンダー・ギャップ指数2022」を公表



World Economic Forum
Global Gender Gap Report 2022



アンケートに寄せられた学生の声

2022年7月に行った「LGBTQ学生を取り巻く現状とニーズ把握のためのアンケート調査」の自由記述回答のなかで当事者および当事者以外の両方から多かった意見は「呼称を“～さん”で統一すべき」でした。また、セクシュアリティについてだけでなく、旧来の男女の役割差別的な教員の発言によって傷ついた体験をもつ学生が少なからずいることがわかりました。アンケート結果は会議等を通じて全教職員に共有し、速やかに改善につなげます。

以下の要望については、今後段階的に取り組んでまいります。

- ジェンダーとセクシュアリティを理解するための授業の増設、セミナーの開講
- 誰もが安心して使えるトイレにするための工夫
- 匿名で相談できる相談窓口の周知

また、自由記述のうち、“意識”に関わる回答の一部をご紹介します。当事者学生の生の声を知り、理解することによって、アライ(5ページ参照)の輪を広げましょう。

※文意に影響のない範囲で、一部表現を言い換えているものもあります。

セクシュアリティに関する差別を受けたこと、見聞きしたことはある？

- 本人は差別のつもりはないと思うが、結婚や恋人の話をされると、いつも困惑してしまう。(当事者)
- ゲイは、男性間でよく差別の対象となりネタにされがちである。(当事者以外)
- 中性的な容姿の人に「男と女どっちなんだろうね」とからかうような口調で言っている学生を見た。(当事者以外)

カミングアウトしたことはある？ (当事者への質問)

- カミングアウトを聞いてくれた親友は、嫌悪感を抱くこともなく真摯に聞いてくれた。家族にも話しておらず、話す前は気持ち悪がられるのではないかと危惧していたが、「素敵だと思う」とも言われ、救われたような気持ちになった。
- 打ち明けたことで嫌われたり、差別されたりなどはなかった。私が当事者であることは大した問題ではなく、一人の人として今までのように接してくれている。私自身は、友人に嘘をつく必要がなくなり、素で話せるので気持ちが楽になった。
- 受け入れてくれなかったのが、本当に信用できる人で、なおかつ伝える必要がある人にしか言わないようにすると決めた。

アウトティングされたことはある？ (当事者への質問)

- 信用していた友人Aにカミングアウトしたところ、Aが別の友人Bに話し、Bから直接「ゲイなの？」と言われた。Bと親しくなかったので驚き、焦って違うとごまかしたが、Aに裏切られたと感じ、悲しくなった。
- アウティングした友人は、アウティング行為について知らず悪気もなかったが、他の人にばらされたことにイラついた。それからは、カミングアウトに慎重になった。

就職活動についての不安 (当事者への質問)

- 履歴書を書く際に、自認する性と一致しない、戸籍上の性別を記さなければならないことにストレスを感じている。
- 面接でスカート、ハイヒールを要求されるということに、少し不安を感じる。
- 就職後に何か差別を受けるのではないかと不安、パートナーができて異性愛者と同様の保障を受けられないのではないかと不安がある。

その他、日頃感じていること

- 性的マイノリティの人が案外身近にいるということや、無意識のうちに差別的な発言をしている可能性があることを、学生や教職員に広く認知してもらえたらうれしい。(当事者)
- ゲイやバイセクシュアルの人から自分が恋愛対象にされるのではないかと心配して、差別的発言をしたり友人関係を断ったりする人がいるが、こちらもストレートの人と同じようにタイプの人はいて、誰でもいいわけではない。そこを勘違いする人は困る。(当事者)
- 男女二元論は取り払い、すべての人が自分の性自認と性的指向に誇りをもって大学生活を送れるようにしてほしい。(当事者)

Q. LGBTQだと打ち明けることを、なぜ「カミングアウト」というのですか？

- A. 語源は「Coming out of the closet(クローゼットから出てくる)」です。これは、自分らしく生きられないことはクローゼットに閉じ込められている状態であり、ありのままの自分を伝えることはクローゼットから出てくることであるという比喩です。カミングアウトしていない状態を「クローゼット」ということもあります。

Q. カミングアウトされたとき、どのように対応すればよいですか？

- A. カミングアウトした人は、あなたのことを信頼しているからこそ、告白したのだと思われます。「受け入れてもらえなかったら、どうしよう」という不安をもちながら、勇気を出してあなたに伝えたいはずで、まずは「話してくれて、ありがとう」という気持ちを伝えてください。カミングアウトされてとまどったとしても、焦らせず、否定せず、最後まで話を聞いてあげましょう。

Q. 私は異性愛者なのですが、同性から告白され、受け入れることができません。これから、どのようにつきあえばよいですか？

- A. 異性から告白されたときと同様に、まず「ありがとう」と伝え、「自分は異性が恋愛対象だから、あなたと恋人としてつきあうことはできない」と誠実に対応すれば、相手を傷つけることにはならないと思われます。そのうえで、「これからも友だちとしてつきあおう」など、自分の正直な気持ちを伝えてください。「気持ち悪い」「ありえない」などと人格を否定するような発言をしたり、「冗談でしょ?」と茶化したりせず、真剣に受けとめてあげることが重要です。また、「〇〇さんから告白された」などと、友人にしゃべったりしないようにしましょう。11ページの「4 アウティングは絶対に禁止!」とコラムを参照してください。

Column

参考図書

獨協大学図書館職員が選書した入門書です。いずれも大学図書館に所蔵しています。

『ひとりひとりの「性」を大切にする社会へ』

遠藤まめた著 新日本出版社(2020)

『イラストで学ぶジェンダーのはなし:みんなと自分を理解するためのガイドブック』

I. ゴットリーブ著 フィルムアート社(2021)

『はじめよう! SOGIハラのない学校・職場づくり:性の多様性に関するいじめ・ハラスメントをなくすために』

「なくそう! SOGIハラ」実行委員会編 大月書店(2019)

『にじ色の本棚:LGBTブックガイド』

原ミナ汰、土肥いつき編著 三一書房(2016)

『LGBTってなんだろう?:自認する性・からだの性・好きになる性・表現する性』

薬師実芳ほか著 合同出版(2019)

『ジェンダーについて大学生が真剣に考えてみた:あなたがあなたらしくいられるための29問』

一橋大学社会学部佐藤文香ゼミ生一同著 明石書店(2019)

2022年1~3月の図書館展示

「ジェンダーについて学ぼうー平等な社会の実現を目指してー」

ブックリストはこちら→



ダイバーシティ推進のための アクション・プラン

誰もが快適な大学生活を送ることができるよう、まず誰もができることから始めましょう。



1

その場にセクシュアル・
マイノリティがいると
いう前提で、肯定的な
言葉を使いましょう。



肯定的な言葉

レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、
トランスジェンダー など



否定的な言葉

ホモ、オカマ、レズ、オネエ、
オトコオンナ、ソッチ系 など

2

男女二元論、異性愛前提での
会話はやめましょう。



「恋人はいるの？」

「どんなタイプの人が好き？」



「彼/彼女はいるの？」

「どんなタイプの男性/女性が好き？」

「結婚する/しない」「子どもをもつ/もたない」の選
択も多様です。特定のあり方のみを前提とした発言
は、そうでない人を排除してしまうことになるので、
気をつけましょう。

3

噂話や笑いのネタにする
ことはやめましょう。



「あの人、レズビアンかな？」

「さっきの人、男？ 女？」

「おまえら、ホモかよ」



4

アウティングは絶対に禁止！

セクシュアリティはきわめて重大な個人情報です。
たとえ悪意がなくても、第三者に軽はずみにしゃ
べってしまうことにより、その人の人生に大きな影
響を与えることとなります。もし噂話として話して
いる人がいたら、毅然と注意をしてください。



Column

アウティングが起こした悲劇

「一橋大大学院の男性が2015年4月、同性の同級生に恋愛感情を伝えたところ、同級生が6月、友人が入る対話アプリのグループで男性が同性愛者であることを暴露した。男性は8月に校舎から転落死した。」(日本経済新聞2020年12月29日朝刊33面「同性愛暴露は“人格権侵害”認定」より)

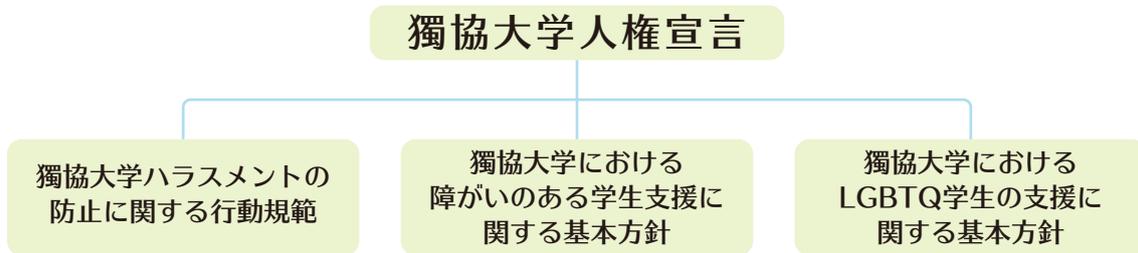
男性の両親は大学と同級生に損害賠償を求めて提訴しましたが、一審は遺族の請求を棄却(同級生側とは和解)。二審の東京高裁判決も大学の責任は認めませんでした。同性愛者であることの暴露(アウティング)を「人格権やプライバシー権を著しく侵害し、許されない」と言及しました。

万が一、アウティングの被害に遭った場合は、学生課に相談してください。学内関連部署等と連携して対応します。また、カミングアウトされたがどう対応したらよいかわからないという場合にも、学生課にご相談ください。

人権についての獨協大学の考え方

獨協大学は、2020年8月、「獨協大学人権宣言」を制定しました。そして、この「人権宣言」が謳う「人権を擁護し、多様性を尊重する」「偏見や差別を許さない」という精神に基づき、以下を制定しました。

- ・獨協大学ハラスメントの防止に関する行動規範
 - ・獨協大学における障がいのある学生支援に関する基本方針（大学ホームページに掲載）
 - ・獨協大学におけるLGBTQ学生の支援に関する基本方針
- 今後、これらの実現に向けた啓発活動や制度整備に、これまで以上に積極的に取り組んでまいります。



獨協大学人権宣言

獨協大学は、「大学は学問を通じての人間形成の場である」という建学の理念を実現するために、誰もが平等な教育研究の機会を与えられ、その人権が擁護され、人として成長できる場を創造することを宣言します。

1. 獨協大学は、国や地域の法令、建学の理念、学則などの規範を遵守します。
2. 獨協大学は、すべての人間は生まれながらにして平等であるとの認識に立ち、人権を擁護し、多様性を尊重します。学生、教職員、その他関係者は、互いの尊厳を守ります。
3. 獨協大学は、国籍、性別、宗教、年齢、障がいの有無、性的指向・性自認などによる偏見や差別を許しません。人間の尊厳を損なう行為を決して放置せず、健全な教育研究環境と職場環境の整備を加速させます。
4. 獨協大学は、学生、教職員、その他関係者が持つ多様性が創造的な教育研究成果を生み出す体制を整備します。
5. 獨協大学は、地域との連携を深めながら、誰もが互いに人格と個性を認め合い、支え合う共生社会の構築に貢献します。

2020年8月15日
獨協大学

獨協大学ハラスメントの防止に関する行動規範

獨協大学は、創設者の天野貞祐が「学問を通じての人間形成」と題した学長講話（昭和43年5月15日）において「世界人権宣言」第1条を引用して述べた「建学の理念」の具現化を目指します。

獨協大学は、「世界人権宣言」、「建学の理念」、「獨協大学人権宣言」の精神に則り、教職員、学生（以下「構成員」）その他関係者の人権が十分に擁護され、多様性が尊重され、各人がそのあるがままの人として受け容れられ、個人の尊厳が護られる環境の実現を図ります。

獨協大学は、個人の性別、性的指向、性自認、社会的身分、人種、国籍、信条、年齢、職業、病歴、障がい、身体的特徴その他あらゆる属性、尊厳又は人格に関わる事項に関する言動であって、相手側の意に反し、かつ、不適切で社会的相当性のない言動により他者の学修、教育、研究若しくは就業環境を害し又は他者に身体的若しくは精神的な苦痛を与える行為（以下「ハラスメント」）を防止し、必要な措置を講じることに努めます。

獨協大学は、以下を本学における構成員の行動規範とします。

1. いかなるハラスメントも行いません。
2. いかなるハラスメントも許さず、これを発見したときにはこれを放置せず、適切な対応を行い、健全な教育研究環境及び職場環境の維持に努めます。
3. ハラスメントの防止に関する研修を受講するなどハラスメントの防止に関する学習を通じて、良心を導くべき理性と知性を高め、他の構成員を含めた他者の個人としての尊厳を損なうことがないよう努めます。
4. 国や地域の法令、建学の理念、学則などの規範を、良心に従って遵守し、獨協大学の構成員としての責任を持って行動します。

2021年4月1日
獨協大学

獨協大学におけるLGBTQ学生の支援に関する基本方針

1. 基本理念

獨協大学は、「獨協大学人権宣言」に基づき、すべての学生の人権を守ります。性的指向や性自認を理由とする偏見や差別を許さず、平等な学修の機会が与えられ、人として成長できる場を提供します。

2. 相談窓口

相談窓口は、学修支援については教務課、生活支援は学生課、キャリア形成支援はキャリアセンターと、3部署が学生のニーズを把握し連携して対応します。カウンセリング・センターおよび保健センターにも相談することができます。

3. 証明書等への性別、通称名、戸籍名の記載(2022年12月1日現在)

〈学生からの申し出により通称名の記載が可能なもの〉

・学生証 ・学割証 ・受講者名簿(学生からの申し出による性別が記載されます)

〈戸籍名を記載するもの〉

・在籍証明書 ・成績証明書 ・健康診断証明書(戸籍上の性別が記載されます) ・卒業証明書 ・学位記

※獨協大学の売店で販売している大学名入り履歴書には性別記入欄がありますが、大学ポータルサイトPorTa IIの「ダウンロードセンター」から性別記入欄なしの大学名入り履歴書をダウンロードすることができます。

4. プライバシー権

アウティング(当事者の意思によらない性的指向や性自認に関わる情報の暴露)の防止に努めます。

5. 啓発・研修活動

性的指向や性自認等を理由とする偏見や差別を防ぐことを目的に、研修などの啓発活動に取り組みます。

6. 多機能トイレ

大学構内には、性別に関わらず誰でも使うことができる多機能トイレが設置されています。

7. 守秘義務

知りえた情報を本人の同意なしに他者に漏らすことはありません。

2021年4月
獨協大学

Column

自治体にも広がる多様性尊重の動き

埼玉県は、性的指向や性自認による差別を受けることなく安心して生活できる社会を目指し、2022年6月の定例県議会において「埼玉県 性の多様性を尊重した社会づくり条例」を制定、7月から施行されています。これに合わせ、LGBTQやその周りの方が相談できる専門窓口が設置されました(14ページ「にじいろ県民相談」を参照)。

また、同性カップルにパートナーシップ制度を実施する自治体が増えていますが、大学のある草加市でも2021年12月からパートナーシップ宣誓制度を開始しています。婚姻制度と同等の権利や義務などの法的効力は生じませんが、パートナーシップ宣誓書受領証等を交付するなど二人の関係を対外的に証明することにより、性的少数者の困難や生きづらさの軽減につなげ、自分らしく輝いて暮らせる街になることを目的としているそうです。

[「草加市パートナーシップ宣誓制度」についてはこちら→](#)



相談窓口

獨協大学内

学生課 (学生センター1階)

「どこに相談したらいいかわからない」というときは、まず学生課学生生活係にご相談ください。面談室を用意していますので、まわりを気にせず、落ち着いて話をすることができます。メールでの相談も受け付けています。✉ diversity@stf.dokkyo.ac.jp

カウンセリング・センター (天野貞祐記念館1階・中央)

どうしてもいかわからず、両親や友人に話しにくい問題でも、相談に応じます。センター内の「心の休憩室」には、ジェンダーやセクシュアリティについての図書コーナーを設けています。



保健センター (天野貞祐記念館1階・東側)

学校医、精神衛生相談員(臨床心理士、公認心理師等)、保健師、看護師が対応します。各種相談利用については、保健センターHPをご確認ください。医療機関の紹介も行っています。



外部機関

よりそいホットライン (一般社団法人社会的包摂サポートセンター)

24時間、年中無休で、相談料・通話料は無料。どんな人の、どんな悩みにもよりそって、一緒に解決方法を探します。セクシュアル・マイノリティの相談は、ガイダンスに沿って#4を押してください。TEL 0120-279-338 FAX 0120-773-776(通話による聞き取りが難しい方)

にじいろ県民相談 (埼玉県 LGBTQ 県民相談)

埼玉県在住または通学の、性的指向・性自認に関する悩みがある方とその周囲の方が対象。毎週土曜日(年末年始を除く) 18時～22時(最終受付21時30分) TEL 0570-022-282 LINEによる相談も受付→



東京弁護士会 セクシュアル・マイノリティ電話法律相談

電話相談料は無料。セクシュアル・マイノリティの法律問題に詳しい弁護士が相談に対応します。第2・第4木曜日(祝日の場合は翌金曜日) 17時～19時 TEL 03-3581-5515

関連情報

ジェンダーについて

内閣府

「令和3年度 性別による無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)に関する調査研究」調査結果チェックシート、事例集も掲載



セクシュアリティについて

文部科学省

「性同一性障害や性的指向・性自認に係る、児童生徒に対するきめ細やかな対応等の実施について(教職員向け)」2016



日本学生支援機構

「大学等における性的指向・性自認の多様な在り方の理解増進に向けて(教職員向け理解・啓発資料)」2018



認定NPO法人 虹色ダイバーシティ

SOGIによる格差のない社会をめざす団体。LGBTについての調査研究などを掲載。

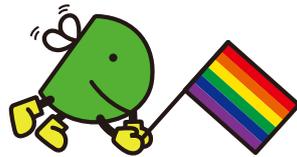


アクセシビリティマップ



多機能トイレ設備早見表

	設置フロア	設置場所	ドア	オストメイト	オムツ交換台	着替え台	備考
東棟	1階～5階	中央棟側	スウィング式	1階のみ	2階のみ	○	
創立50周年記念館(西棟)	1階	中央棟側	自動ドア	○	○	○	
	2階～4階	西側	スライド式			2階のみ	
天野貞祐記念館(教室) (図書館)	1階～5階	ドーム近く	スライド式			1階のみ	1階はベビーチェアも設置
	1階～3階	西側	スライド式				
4棟	1階	女子トイレ内	スライド式				
6棟	1階	男女トイレ近くに各1カ所	自動ドア				
中央棟	1階	西棟側の男女トイレ内	スライド式				
学生センター	1階・3階・5階	中央階段近く	スライド式	1階のみ	1階のみ		
35周年記念館	1階・2階	1階は書店近く。2階は学食内	スライド式				
学生センター別館	1階	35周年記念館側に2カ所	スライド式	○	○		
獨協大学コミュニティスクエア		エントランスホール付近	スライド式	○	★	○	★男女トイレ内にそれぞれ設置



獨協大学のイメージキャラクター「どく太くん」がもっているレインボー・フラッグの色は、赤、オレンジ、黄、緑、青、紫の6色。多様な性への理解と共感を象徴するものです。レインボー・カラーは、セクシュアル・マイノリティだけでなくアライ(5ページ参照)も、支援の表明として掲げたり、身につけたりできます。

獨協大学 ダイバーシティ推進連絡会(学生センター1階・学生課学生生活係内)

e-mail: diversity@stf.dokkyo.ac.jp

phone: 048-946-1670

受付時間: 月～金 9:00～17:00